

# 子育て支援ネットワークづくりに関する研究 —行政、市民、大学の三者協働—

瀧口 優

## 1. 経過

「子育て支援ネットワークづくりに関する研究—行政、市民、大学の三者協働—」（以下「子育て支援ネット」）のテーマを掲げて4年目に入る。昨年度まではいくつかのプロジェクトが関わっていたが、今年度は「小平西地区地域ネットワークに関する研究」（以下「西ネット」）に一本化されて取り組んできた。西ネット内の動きを時系列でまとめると以下の通りである。

< 2015 年 >

- 4月 3日（火）第1回大学世話人会
- 5月 12日（火）第1回地域世話人会
- 5月 26日（火）第2回大学世話人会
- 6月 2日（火）第1回地域懇談会  
「小平西のきずな 14号」発行
- 6月 23日（火）第3回大学世話人会
- 7月 7日（火）第2回地域世話人会
- 7月 21日（火）第4回大学世話人会
- 9月 8日（火）第3回地域世話人会
- 9月 29日（火）第2回地域懇談会  
「小平西のきずな 15号」発行
- 10月 13日（火）第5回大学世話人会
- 10月 24日（土）白梅祭参加
- 10月 25日（日）白梅祭参加
- 11月 24日（火）第4回地域世話人会
- 12月 1日（火）第6回大学世話人会
- 12月 15日（火）第3回地域懇談会  
「小平西のきずな 16号」発行

< 2016 年 >

- 1月 12日（火）第7回大学世話人会
- 2月 2日（火）第8回大学世話人会
- 2月 16日（火）第5回地域世話人会

3月 1日（火）第9回大学世話人会

3月 12日（土）第4回地域懇談会  
「小平西のきずな 17号」発行

以上は全体に関わる会議や行事の日程である。これ以外にブロックごとの世話人会や行事、コミュニティカフェへの参加などがあり、年間ではおよそ20回の会合（上記）とブロックごとの取り組みを合わせると、年間40回前後の地域とのかかわりを持つことになっている。全体としてはよく支えてきたと言えるのではないか。

## 2. 成果と課題

西ネットが正式にスタートしてこの3月で4年（足かけ4年半）が経過し、ネットとしての取り組みが落ちついてきた時期ともいえる。「小平西のきずな」はこの1年で4号発行したが、地域の民生児童委員、医師及び薬局、そして様々な学校へ配布されている。こうした取り組みを通してこの1年間どのような成果を獲得することができたのだろうか。

西ネットの目的については「小平西地区・地域ネットワークの運営について」の中で触れているように「小平西地域に相互信頼に基づく人のつながり・ネットワークをつくり、人間関係が豊かな地域づくりを目指す」という点でどうなのだろうか。西ネット全体としては、各ブロックの取り組み及び上記に掲げた全体での取り組みを通して、少しずつ前進させたという点で確認したい。

また大学としてどれだけ学生を地域の中に関わる機会をつくってきたのかという点での評価も重要である。白梅学園大学と短期大学で学生が中心

となって取り組んでいる「子育て広場」と連携して、地域の取り組みに参加することもあるが、コミュニティ・サロン「さつき」や「きよか」への参加、障害者センターまつりへの参加、小平第一小学校、第十三小学校、上宿小学校及び小平第十二小学校の青小対まつりへの協力、小川西町公民館祭り、小川町公民館祭りへの学生参加、小平第十三小地区防災ネットワークの訓練への参加、小平市大学連携事業の「まちを楽しむ」への参加なども関わりを持ってきている。

立ち上げより5年となり、地域の中で、また小平市の中で、「西ネット」の存在が認められるようになってきたことは確かであるが、これをどのように位置づけ、そして発展させていくのかについて十分な論議ができていないわけではない。今後学園や大学の地域へのかかわり方を視野に入れて、研究的な取り組みをすすめる必要がある。

また、次年度より「西ネット」が地域交流研究センターの中に位置付けられることに伴い、組織としての地域対応ができるようにならなければならない。

### 3. 今後の取り組みについて

基本的に現在の4ブロック体制を維持しつつ、それぞれのブロックの特徴を生かしながら、全体としての取り組みを視野に入れ、学園祭や地域懇談会をより充実したものにしていく必要がある。特に学生の参加をすすめることが求められる。

また、現在「さつき」「きよか」に続いて他のブロックでもコミュニティ・サロンをつくる動きがあり、地域の拠点づくりに「西ネット」としての方針を重ねる必要がある。4年目をむかえた「さつき」では交流の広がりとともに、視察や相談なども増えてきており、運営の仕方を含めて外に伝えていく必要がある。「きよか」では昨年度映画の撮影に会場を提供し、地域とのつながりも深まりつつある中で、より有機的な運営が求められている。

昨年度後半より「西のきずな」の印刷及び作成

等を地域の作業所に依頼し、就労支援を兼ねた取り組みを行っている。こうした地域のニーズや課題にも取り組んでいく必要があり、2016年度は南西地区にコミュバスを走らせる会の動きが本格化するので、こうした動きにも対応していけたらと思う。

なお地域交流研究センターの研究・実践活動をまとめるという形で、今年度より報告書を作成することになっているので、西ネットとしても経過や課題を整理しておくとともに、理念的な方向についても議論を進める必要がある。

#### <大学世話人>

井原哲人（家族・地域支援学科）杉本豊和（家族・地域支援学科）関谷栄子（家族・地域支援学科）  
 瀧口優（保育科）土川洋子（家族・地域支援学科）  
 西方規恵（家族・地域支援学科）長谷川俊雄（子ども学科）  
 福丸由佳（発達臨床学科）牧野晶哲（家族・地域支援学科）  
 森山千賀子（家族・地域支援学科）山路憲夫（家族・地域支援学科）  
 金田利子（客員研究員）草野篤子（嘱託研究員）瀧口真央（嘱託研究員）  
 奈良勝行（嘱託研究員）吉村季織（嘱託研究員）

#### <地域世話人>

西 克彦（第一ブロック）足立隆子・早田 満・芳井正彦・今野志保子（第二ブロック）石川貞子・大内智恵子・久保田進・穂積健児・杉浦博道・井上洋生（第三ブロック）櫻田 誠・萩谷洋子・福井正徳・細江卓朗・渡辺穂積（第四ブロック）